

## 第2節 自然環境

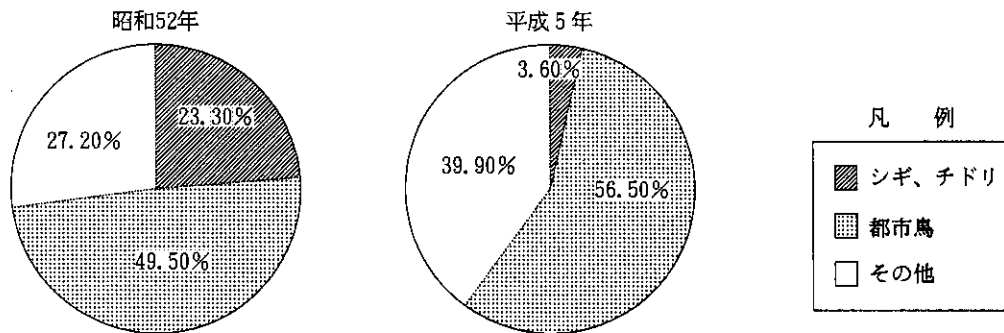
### 第1 生態系の多様性

府域の森林や公園、河川等は、野生動植物の繁殖地や移動経路等となっており、これらを中心に、府域では、多くの種類の生物の生息・生育が確認されている。これらの野生動植物は、生態系の重要な構成要素であり、自然環境の重要な一部としてわれわれの豊かな生活に欠かすことのできないものである。

#### 1 生息鳥獣

府域の野生鳥獣については、33種の獣類と360種の鳥類が確認されているが、各地域で生息する鳥獣の相は異なる（2-1～2図、2-3～5表）。

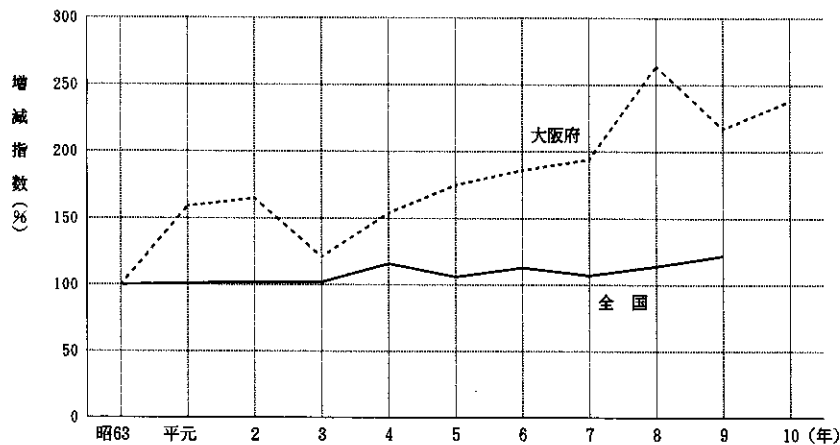
2-1図 夏期におけるシギ・チドリ類及び都市鳥の比率の変化



(注1) 調査方法：府下41点において、夏期（平成5年5月19日～7月20日）に野生鳥類の生息状況を調査し、前回調査（昭和52年）と比較した。

(注2) 都市鳥：スズメ、ムクドリ、ヒヨドリ、キジバト、モズ、ハシブトガラス、ハシボソガラスの合計とする  
(平成5年 大阪府緑の環境整備室調べ)

2-2図 カモ類の生息数の推移



調査年月	昭63.1	平元.1	2.1	3.1	4.1	5.1	6.1	7.1	8.1	9.1	10.1
全国	100	101	102	102	116	106	113	107	114	122	—
大阪府	100	159	185	121	154	175	186	194	264	217	238

(注) 増減指数：昭和63年を100とする。

2-3表 ガンカモ科鳥類の調査地別観察数ベスト5の推移

順位	調査年月 (調査か所数)	平5. 1 (176か所)	6. 1 (187か所)	7. 1 (199か所)	8. 1 (210か所)	9. 1 (241か所)	10. 1 (287か所)
1		淀川全域 8,826	淀川全域 8,873	淀川全域 10,837	大阪市北港 17,385	淀川全域 8,875	淀川全域 9,887
2		大阪市北港 3,795	大阪城公園 3,238	大阪市北港 3,809	淀川全域 5,548	大阪市北港 3,689	大阪市北港 4,784
3		大和川全域 3,379	安威川全域 2,810	安威川全域 3,178	大和川全域 4,649	大阪城公園 3,074	大阪城公園 2,764
4		南港野鳥園 1,761	大和川全域 2,301	平林貯木場 1,448	安威川全域 2,976	大和川全域 2,564	鶴見緑地 2,585
5		安威川全域 1,208	神崎川全域 1,771	大和川全域 1,430	平林貯木場 1,052	安威川全域 2,527	大和川全域 2,413

(注1) 表中、上段は調査地名、下段は観察羽数

(注2) ガンカモ科鳥類の生息調査は、毎年冬期に日本に渡来するガン、カモ、ハクチョウ類の生息状況を把握するために、環境庁の呼びかけにより昭和44年度から全都道府県が一斉に実施している。

2-4表 カモ類観察数種別順位

(平成9年度)

順位	種名	確認数(羽)	%
1	ホシハジロ	20,471	48.3
2	ヒドリガモ	6,197	14.6
3	キンクロハジロ	2,673	6.3
4	コガモ	2,666	6.3
5	マガモ	2,601	6.1
6	ハシビロガモ	2,172	5.1
7	カルガモ	1,922	4.5
8	スズガモ	1,560	3.7
9	オナガガモ	986	2.3
10	オカヨシガモ	418	1.0
11	オシドリ	284	0.7
12	ヨシガモ	246	0.6

2-5表 ニホンジカの生息頭数の推移

(単位：頭)

	昭54	57	60	63	平3
能勢地域 剣尾山個体群	8~15	42~100	73~194	69~197	79~288
箕面地域 鉢伏山個体群	12~35	21~76	42~118	21~98	調査せず
高槻地域 ポンポン山個体群	4~10	10~24	15~53	11~46	〃
計	24~60	73~200	130~365	101~341	

(注1) 左の数字は最低確認数、右の数字は最大推定数を表示

(注2) 調査は、①オスジカ成獣の鳴き声調査及び②シカ生息地周辺の人々に対するアンケート調査の二方法により実施。

(注3) 平成3年の調査では、②を生息地全域で実施したが、①の実施は能勢町地域のみであった。

(注4) 平成6年に3地域におけるニホンジカの分布状況調査を実施(生息頭数の調査は実施していない)。

### (北摂山系)

北摂山系では、箕面を中心に、アカネズミやモグラ、コウモリ等の小型哺乳類のほか、ニホンジカ、イノシシ、テン等の中・大型哺乳類、合わせて22種の哺乳類が確認されている。

なお、溪流には貴重種であるカワネズミが、明治の森箕面国定公園には天然記念物のニホンザルが生息している。

鳥類については、留鳥ではコゲラやシジュウカラ等が、夏鳥ではサンコウチョウやオオルリ等が、冬鳥ではツグミ類やミヤマホオジロ等が、漂鳥ではルリビタキやベニマシコ等が確認できる。特に秋季の渡り期には、サシバ、ハチクマ等のタカ類が大挙して渡るコースとなっている。

### (金剛・生駒山系)

生駒山地は、古くから開発の影響を受け、他の山系に比べ林層が乏しいため、哺乳類については、ノウサギやヒミズ、モグラが広範囲に生息しているほかは、特筆すべきものはなく、また、鳥類については、留鳥ではウグイスやホオジロ等が、夏鳥ではホトトギス、ヤブサメ等が、冬鳥ではツグミ類やカシラダカ等が、漂鳥ではルリビタキやアオジ等が見られる。

金剛山地は、植林等が進み、開発の影響は他の山地に比べ小さく、リスやムササビ等の小型哺乳類のほか、アナグマ、タヌキ等の生息が確認されている。一方、鳥類は多く、留鳥ではオオアカゲラやヤマガラ等が、冬鳥ではオオマシコ、ツグミ類等が、漂鳥ではウソ、キクイタダキ等が見られ、夏鳥は府域で最も多く生息している。なお、ミソサザイ、ゴジュウカラの府域では稀少な繁殖地である。

### (和泉葛城山系)

奥山を持つ東部と、持たない西部とでは、生息環境に対する人為の影響は異なるものの、総じて特筆すべきものはなく、哺乳類については、ノウサギやリス、イタチ等いずれの山系でも見られる種が生息している程度である。また、鳥類については、留鳥ではヒガラやメジロ等が、夏鳥ではキビタキやホトトギス等が、冬鳥ではツグミやマヒワ等が見られる。なお、標高 500m以上の地域には、府域で最も大型のクマタカが生息している。

### (平野・丘陵部)

哺乳類ではイタチ、タヌキ、モグラ等が見られ、鳥類ではスズメ、ドバトが多数生息しており、また、大泉緑地、服部緑地、万博記念公園、大阪城公園等の都市公園には、春秋の渡り期に北国や亜高山帯で繁殖する多くの夏鳥、旅鳥が渡来する。

また、春秋期には、大阪市南港埋立地、泉南市男里川・樫井川河口の干潟にシギ、チドリ類が渡来し、冬期には、仁徳天皇陵等の濠や淀川河川敷等に多数のカモ類が渡来する。

## 2 魚 類

現在、府域には、約60種類の淡水魚が生息している。川の上流にはアマゴ、カワムツ、中流にはオイカワ、下流にはギンブナ、ため池にはタモロコ、農業用水路にはメダカやドジョウ等が住んでいる。これらの内、イタセンパラ、アユモドキ、ニッポンバラタナゴ、ヤリタナゴ、ズナガニゴイ、アカザ、アジメドジョウ等は、近年生息環境の悪化にともなう個体数の減少が著しく、特にイタセンパラ（天然記念物）、アユモドキ（天然記念物）及びニッポンバラタナゴは、環境庁から絶滅の危惧種に指定されている。

### 3 植 生

大阪は、早くから文化が開け、多くの地域が活発な人間活動の場として利用されてきたため、自然植生の樹林は、山地の山頂部、急傾斜地、境内地等にわずかに残っているだけである。

府域を冷温帯と暖温帯に分けると、大部分が暖温帯に属する。暖温帯は、古くから利用の対象とされており、その大部分は、市街地や造成地、田畑及び果樹園となっているが、山地から丘陵にかけては、代償植生（人間の影響によって、本来の自然植生が様々な人為植生に置き代わったもの）としてモチツツジ・アカマツ群集、特にアカマツ林が広く分布しており、次いでコナラ群落の主として生駒山地に、スギ・ヒノキ人工林が北摂及び金剛の山地に分布している。自然植生としては、アラカシ群落、サカキ・ウラジロガシ群落及びゴジイ・クロバイ群落がわずかながらも社寺、古墳及び急傾斜地に残存しているほか、貴重なものとしては、岸和田市の意賀美神社にミズバイ・スダジイ群落、堺市の美多弥神社に府指定天然記念物のシロカガシ群落等がそれぞれ残存している。

冷温帯の多くは、スギ・ヒノキ人工林やモチツツジ・アカマツ群集等の代償植生に被われている。自然植生としては、妙見山及び和泉葛城山の山頂部にブナ林が残存しており、なかでも和泉葛城山のブナ林は、国の天然記念物に指定（大正12年）されている。

冷温帯と暖温帯との推移帯（標高600～800mの地帯）にある高槻市本山寺等には、モミ、ツガの天然林が点在している。

また、淀川、大和川の河川敷には、ヨシ、オギ等が優占する湿原がある。

### 4 そ の 他

特別天然記念物オオサンショウウオは、世界最大の両生類で、府域では北摂山系等の河川に生息している。また、天然記念物イタセンパラ、アユモドキは、淀川水系の河川に生息する淡水魚であり、イタセンパラは淀川本流のわんど等を、アユモドキは淀川水系の中小河川を生息域としている。

## 第2 多様な自然環境

大阪の自然は、大阪湾と淀川、大和川水系をはじめ多くの河川が流れる大阪平野、及びこれを取り囲む北摂、金剛生駒、和泉葛城の三山系からなっている。府内には、約6万ha（府域の約3割）の森林、約1千kmの河川や約1万1千か所のため池等の水辺空間、また、市街地やその周辺においても社寺林等の歴史的な緑や農空間がある。

これらの自然は、生態系の維持、大気や水の環境調節機能、水源かん養、治山・治水といった国土保全機能に加え、農林水産業の生産基盤の提供、やすらぎや潤いといった人の心や健康に有益な効果等、多様な公益的機能をわれわれに提供してくれている。

#### 1 自然海岸

自然海岸とは、海岸部が自然の状態を保持している海岸のことで、砂浜、泥浜、磯浜、転石浜、岩礁、及び河口干潟等の種類がある。府において自然海岸は、南部の泉南市・阪南市・岬町に存在し、泉南市と阪南市の境には河口干潟が、岬町には岩礁が見られる。

府の海岸線は、総延長距離が約260kmあり、このうち自然海岸が占める割合は、わずか1%程度に過ぎない(2-6表)。

2-6表 海岸の形状

(平成元年度調査)

	岩 礁	砂 浜	人工 海浜	緩 傾 斜 護 岸	消 波 ブ ロ ック 護 岸	垂 直 護 岸	合 計
自 然 海 岸	2.8 (1.1)						2.8 (1.1)
半 自 然 海 岸	3.2 (1.2)	7.0 (2.7)					10.2 (3.9)
人 工 海 岸			3.4 (1.3)	6.4 (2.5)	58.2 (22.4)	179 (68.8)	247 (95)
合 計	6.0 (2.3)	7.0 (2.7)	3.4 (1.3)	6.4 (2.5)	58.2 (22.4)	179 (68.8)	260 (100)

(注) ( )内は%

(単位: km)

## 2 森林・農地

森林は、単に木材資源供給の場としてだけではなく、土砂流出防止、水源かん養といった国土保全機能、大気や水の浄化、気候緩和といった環境保全機能のほか、人の心に潤いを与える保健機能等の公益的機能を有し、また、野生生物の生息地としての重要な役割も果たしている。

府域の森林については、南河内等の生産性の高い林業経営が行われている地域を除いて、資産保持的な傾向が強く、森林の他用途への転用により、林野面積は漸減の傾向にある(2-7表、2-8図)。

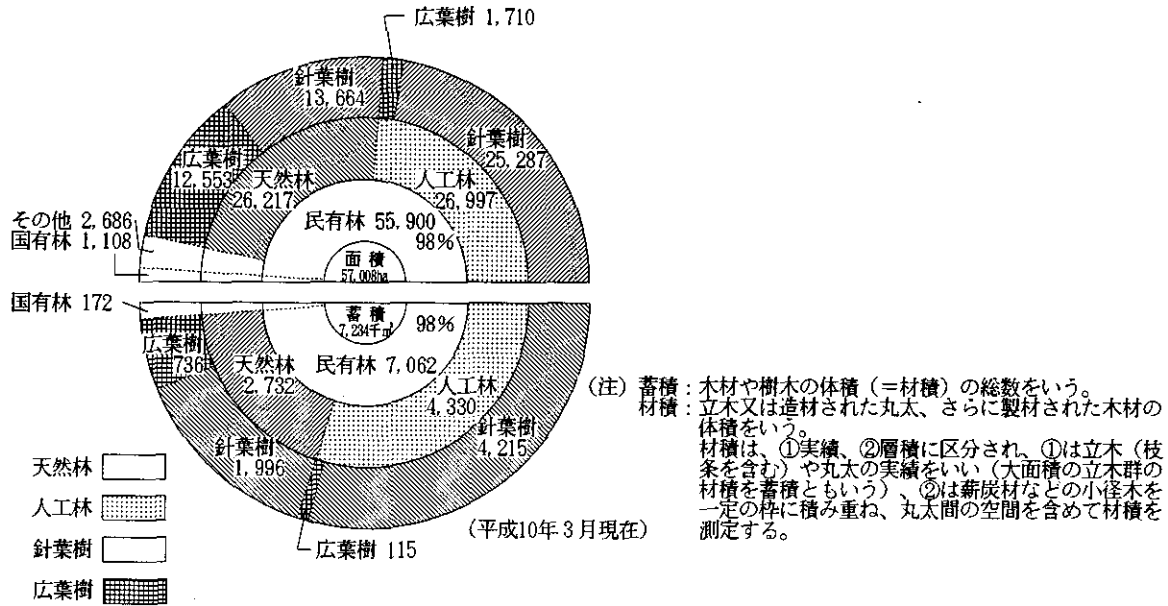
一方、農地は、都市化の進展に伴い、毎年減少の一途をたどっている(2-9表)が、高度成長期の減少幅に比べると緩やかになっている。

2-7表 森林面積の推移

(単位: ha)

		平 3	4	5	6	7	8	9
総	数	57,398	57,322	57,180	57,129	57,083	57,046	57,008
	民 有 林	56,267	56,191	56,049	56,021	55,975	55,938	55,900
	天 然 林	26,592	26,488	26,440	26,417	26,267	26,287	26,217
	人 工 林	26,933	26,962	26,917	26,912	27,022	26,965	26,997
	竹 林	1,280	1,279	1,260	1,260	1,254	1,254	1,254
	そ の 他	1,462	1,462	1,432	1,432	1,432	1,432	1,432
	国 有 林	1,131	1,131	1,131	1,108	1,108	1,108	1,108

2-8図 森林の比率



2-9表 耕地面積の推移

(単位：ha)

年	平 5	6	7	8	9
面 積	17,500	17,400	17,200	17,000	16,400

(注) 1 数字は各年8月1日現在の状況を示す  
2 近畿農政局調べ

### 3 ため池

府域には、約1万1千か所余りのため池が点在するが、その大半は堺市、松原市及び八尾市を結ぶ地域から南に集中して分布しており、他は淀川水系の水が利用できない生駒山麓及び北摂丘陵地帯に分布している。大規模なものとしては、久米田池(岸和田市)、光明池(和泉市)等がある(2-10表)。

2-10表 ため池の状況

年 度	地域名					合 計
	北 部	大阪市	中 部	南河内	泉 州	
平 4	2,105	6	2,442	3,528	3,633	11,714
5	2,105	6	2,383	3,527	3,600	11,621
6	2,104	6	2,337	3,522	3,582	11,551
7	2,097	6	2,334	3,520	3,566	11,523
8	2,007	6	2,330	3,518	3,543	11,404
9	2,005	6	2,325	3,498	3,494	11,328

(注) 数字は各年の4月1日現在のため池数を示す。

### 第3 自然とのふれあい

#### 1 国定公園利用者数等

府域には、明治の森箕面国定公園と金剛生駒紀泉国定公園の2つの国定公園があり、府民の自然とのふれあいの機会を提供しているが、平成8年の利用状況は、それぞれ215万人と1,300万人である（2-11表）。

また、府域の森林区域、自然公園区域は、2-12図のとおりであり、自然の状況に応じたふれあいのための施設が整備されている。

2-11表 国定公園の概要

#### < 明治の森箕面国定公園 >

指定年月日	昭和42年12月11日	
面積 (ha)	第1種特別地域	187.9
	第2種特別地域	203.6
	第3種特別地域	571.1
	計	962.6
特質等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明治100年の記念事業として東京の「高尾」とともに指定</li> <li>・シイ、カシ、ヤブニッケイ、ホオノキ、モミ、イロハカエデ等140科 980種の植物</li> <li>・3,000種を超える「昆虫の宝庫」</li> </ul>	
施設設備状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・箕面ビジターセンター</li> <li>・エキスポ'90みのお記念の森</li> <li>・政の茶屋園地</li> <li>・大日橋園地</li> <li>・清水谷園地</li> <li>・ようらく台園地</li> <li>・勝尾寺園地</li> <li>・こもれびの森</li> <li>・東海自然歩道の起点</li> <li>・自然研究路 (12.9km)</li> <li>・昆虫館 (都市公園施設)</li> </ul>	
利用状況	215万人 (平成8年)	

#### < 金剛生駒紀泉国定公園 >

指定年月日	昭和33年4月10日 (昭和61年2月8日一部変更、平成8年10月2日一部変更)	
面積 (ha)	特別保護地区	10
	第1種特別地域	122
	第2種特別地域	2,791
	第3種特別地域	12,461
	普通地域	151
	計	15,535 (奈良県域及び和歌山県域を含めた総面積は23,119ha)
特質等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金剛山付近の豊富な植物群落</li> <li>・サクラ、モミジの檜尾山</li> <li>・生駒山地、二上山は地形地質学上注目されている</li> <li>・高安山、信貴山、千早赤阪村等は史跡に富む</li> <li>・国の天然記念物に指定されている和泉葛城山ブナ林</li> <li>・牛滝山、犬鳴山のシラカシ自然林</li> </ul>	
施設設備状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「府民の森」(8園地)</li> <li>・緑の文化園</li> <li>・二上山万葉の森</li> <li>・岩湧の森</li> <li>・香楠荘</li> <li>・金剛登山道駐車場</li> <li>・ダイヤモンドトレール (全長45km)</li> <li>・生駒縦走歩道 (全長22.2km)</li> </ul>	
利用状況	1,300万人 (平成8年、奈良県域を含めた利用者数は1,870万人)	

## 2-12図 みどりの施設マップ

### 府民の森

- 1 くろんど園地
- 2 ほしだ園地
- 3 緑の文化園むろいけ園地
- 4 くざか園地
- 5 めかた園地
- 6 なるかわ園地
- 7 みずのみ園地
- 8 ちはや園地

### 府営公園

- 1 箕面公園
- 2 服部緑地
- 3 山田池公園
- 4 覆屋川公園
- 5 深北緑地
- 6 住之江公園
- 7 住吉公園
- 8 枚岡公園
- 9 久宝寺緑地
- 10 錦織公園
- 11 長野公園
- 12 石川河川公園
- 13 大泉緑地
- 14 浜寺公園
- 15 鶴鈴池公園
- 16 二色の浜公園
- 17 りんくろ公園
- 18 せんなん皇海公園

### みどりの拠点施設・公園等

- 1 21世紀の森
- 2 歌垣山緑の交流空間
- 3 府民牧場
- 4 高槻花しょうぶ園
- 5 高槻森林観光センター
- 6 神峰山の森
- 7 摂津緑公園
- 8 箕面ビジターセンター
- 9 エキスポ90みのお記念の森
- 10 日本万国博覧会記念公園
- 11 淀川河川公園
- 12 花博記念公園鶴見緑地
- 13 大阪城公園
- 14 長居公園
- 15 大阪南港野鳥園
- 16 高尾山創造の森(整備中)
- 17 府立緑化センター
- 18 二上山万葉の森
- 19 近つ飛鳥風土記の丘
- 20 弘川寺歴史と文化の森(整備中)
- 21 富田林市農業公園サバーファーム
- 22 府立花の文化園
- 23 岩湧の森
- 24 河内長野市立林業総合センター木根館
- 25 大仙公園
- 26 水と森の学園(整備中)

### 野外活動・キャンプ・宿泊施設

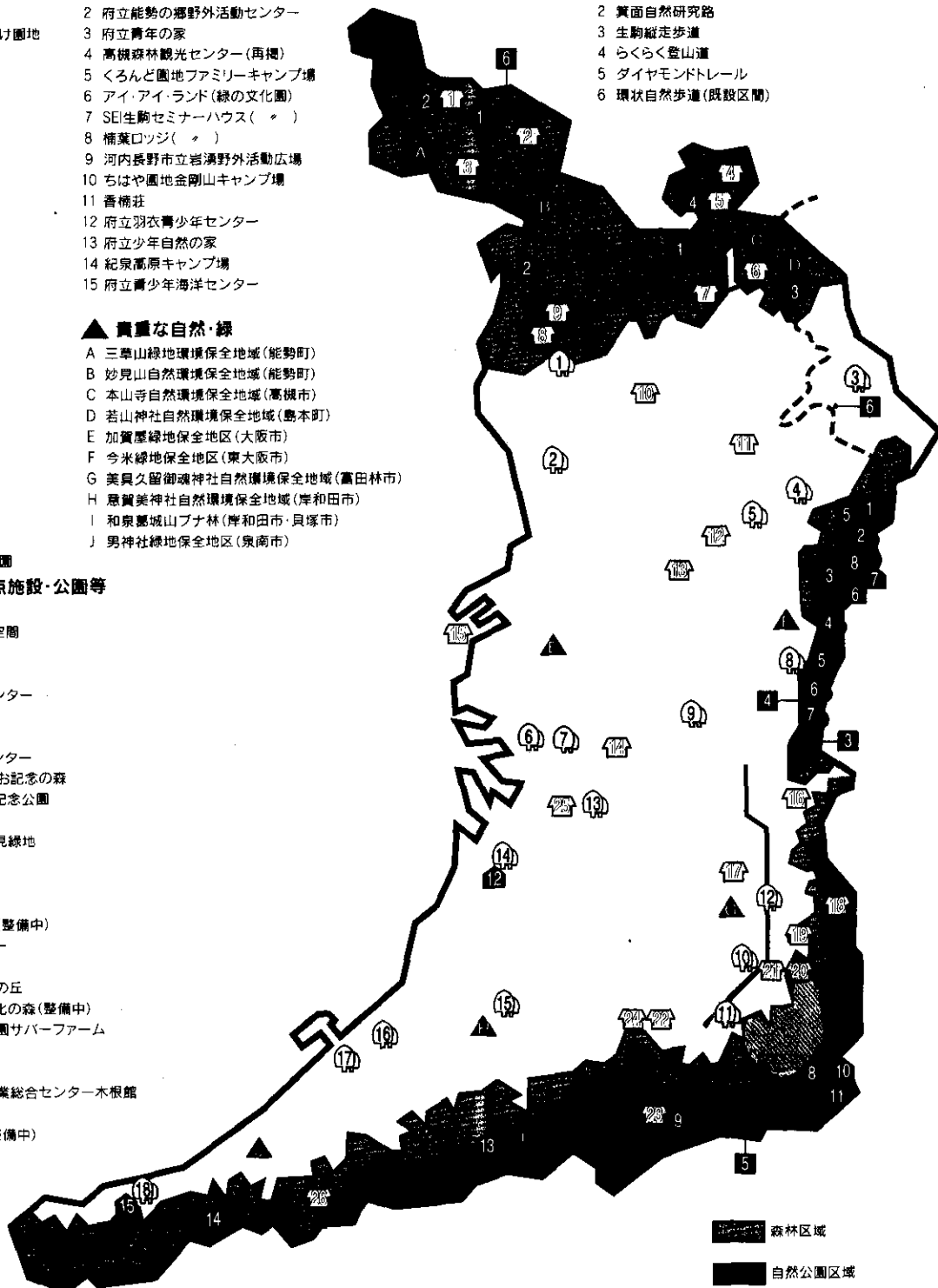
- 1 府立総合青少年野外活動センター
- 2 府立能勢の郷野外活動センター
- 3 府立青年の家
- 4 高槻森林観光センター(再掲)
- 5 くろんど園地ファミリーキャンプ場
- 6 アイ・アイ・ランド(緑の文化園)
- 7 SEI生駒セミナーハウス( )
- 8 楠葉ロッジ( )
- 9 河内長野市立岩湧野外活動広場
- 10 ちはや園地金剛山キャンプ場
- 11 香楠荘
- 12 府立羽衣青少年センター
- 13 府立少年自然の家
- 14 紀高高原キャンプ場
- 15 府立青少年海洋センター

### 貴重な自然・緑

- A 三草山緑地環境保全地域(能勢町)
- B 妙見山自然環境保全地域(能勢町)
- C 本山寺自然環境保全地域(高槻市)
- D 若山神社自然環境保全地域(島本町)
- E 加賀屋緑地保全地区(大阪市)
- F 今米緑地保全地区(東大阪市)
- G 美貝久留御魂神社自然環境保全地域(富田林市)
- H 意賀美神社自然環境保全地域(岸和田市)
- I 和泉葛城山ブナ林(岸和田市・貝塚市)
- J 男神社緑地保全地区(泉南市)

### 自然歩道等

- 1 東海自然歩道
- 2 箕面自然研究路
- 3 生駒縦走歩道
- 4 らくらく登山道
- 5 ダイヤモンドトレール
- 6 環状自然歩道(既設区間)



森林区域  
自然公園区域